

さっぽろ子育てメッセ 2023

第1部 9:50~12:00

地域子育て支援拠点発！“地域連携”

～地域で孤立しがちな乳幼児親子を、それぞれの多様なニーズに合わせて
取りこぼしなく、継続性を持って、親子の生活圏内で包括的に支援するために

○12の専門機関・団体の活動紹介&分散交流会

子育て世代包括支援センター・利用者支援・児童相談所・さっぽ・こども広場・ファミサポ・緊サポ・小児科医・助産院・乳児院・父親支援・DV 被害者支援&加害者更生プログラム・学習支援

第2部 13:00~16:30

さっぽろ版“こどもまんなか社会”を 乳幼児の視点から考える

○基調講演 恵泉女学園大学学長 大日向雅美さん
「今、子どもを育てるということ」

○パネルディスカッション



アートスタジオズキ提供

日時：2023年10月14日(土) 9:50~16:30

会場：北海道大学学術交流会館 第1会議室

札幌市北区北8条西5丁目8-1（地下鉄さっぽろ駅徒歩8分）

主催：北海道大学大学院 教育学研究院 乳幼児発達論研究室
× NPO 法人 子育て応援かざぐるま

対象：地域子育て支援拠点事業や子育てサロンなどのスタッフ
子育て支援および母子保健の行政等の担当者
乳幼児親子を取り巻く様々な専門機関、団体、研究者など

協力：札幌市、読売新聞社

問合せ：kazaguruma@oasis.ocn.ne.jp

申込みフォーム
【定員100名】



企画趣旨：

2019年12月、「にっぽん子ども・子育て応援団」の主催(企画かざぐるま)で開催した、「地域まるごとケア・プロジェクト 地域人材交流研修会 in さっぽろ～地域子育て支援拠点発！地域連携」では、分散交流会を通して12の専門機関と知り合うことができ、そのつながりが実際に様々な支援の場面で役立ちました。

その後の3年間は新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、ほとんどの子育て家庭が孤独なスタートを余儀なくされ、子育て支援の現場ではワンオペでアウェイ育児を強いられていた多くの母親たちの悲鳴が聞かれました。乳幼児親子の地域の身近な居場所である「地域子育て支援拠点(常設サロン)」では、各所が「予防的支援」を意識して親子の駆込み寺的役割を果たしました。

痛ましい虐待をなくし親子を救うためには、虐待の早期発見や再発防止、関係機関の連携と並行して、地域で孤立しがちな乳幼児親子を、それぞれの多様なニーズに合わせて取りこぼしなく、親子の生活圏内で包括的に継続的支援を行い、虐待の発生を防ぐ「予防的支援」の体制をさらに進める必要があります。

特により身近なところで親子を支える「地域子育て支援拠点(常設サロン)」同士のネットワークを進め、お互いの質を高めつつ、様々な専門機関との連携を密にして地域のセーフティネットをさらに強化することが必要不可欠です。

そこで、2021年11月に受賞した第15回よみうり子育て応援団大賞の副賞も活用して札幌市や他団体と協力ながら「さっぽろ子育てメッセ2023」を開催し、第1部では地域子育て支援拠点に求められる「予防的支援」を再確認するとともに、地域子育て支援拠点と様々な専門機関との関係を紡ぎ「地域ぐるみで支え合う子育て環境づくり」を推進したいと考えます。

さらに、第2部では今年4月から「こども基本法」と「こども家庭庁」がスタートしたことを踏まえ、私たちが目指すべき札幌版の「こどもまんなか社会」はどのような社会なのか、官民みんなで考える機会としたいと思います。

また、北海道大学大学院教育学研究院乳幼児発達論研究室と共同で開催し、札幌の子育てをエンパワーするための実践者と行政担当者の連携交流の促進、子育て支援実践に関わる研究者による学術交流を推進する機会とします。

パネルディスカッション登壇者：

コーディネーター：北海道大学大学院教育学研究院子ども発達臨床研究センター准教授 川田 学さん

パネリスト：札幌市子ども未来局子育て支援部子育て支援推進担当課長 佐藤あゆみさん

NPO 法人子育て応援かざぐるま代表理事 山田智子、他1名

コメンテーター：恵泉女学園大学学長 大日向雅美さん



恵泉女学園大学学長 大日向 雅美さん：

専門は発達心理学・学術博士。1970年代初めのコインロッカー・ベビー事件を契機に40数年、母親の育児ストレスや育児不安を研究し、地域のNPO活動にも取り組んでいる。NPO法人あい・ぽーとステーション代表理事。内閣府男女共同参画推進連携会議議長、社会保障制度改革国民会議委員、子ども・子育て会議委員、少子化社会対策大綱検討委員歴任。「男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰」、「NHK放送文化賞」他受賞。

北海道大学大学院 教育学研究院 乳幼児発達論研究室：

子どもの発達と、その子どもが生きるコミュニティの発展とを一体的に理解する枠組みを共同探究しており、教員、大学院生、学部生までを含めた、異年齢・異学年協働による研究室運営を行っている。私たちの研究は、発達心理学を基盤とするアプローチ。タテの異年齢・異学年関係のみならず、多様な関心と背景から生まれるヨコの連帯、そして、タテとヨコが掛け合わされたナナメの結びつきにより、研究室コミュニティとしての学びが豊かになることを期待している。

NPO 法人子育て応援かざぐるま：

1986年任意団体設立の日本屈指の老舗子育て支援団体。中央区円山の「子育て拠点てんてん」を中心に、訪問保育、産前産後サポート、てんてん預かり保育、2歳児の森のようちえん「トコトコらぶ」、札幌大谷大学子育て支援センター「んぐまーま」の運営協力、講師派遣、子育て応援ブックの発行&子育て応援動画配信、市内・道内の子育て支援や保育の質の向上に向けて研修会や講座などを企画運営している。2019年、第15回よみうり子育て応援団大賞受賞♪